

札幌社保協 FAXニュース

2014年 1月31日 (金)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者医療110番
は2月27日(木)

年金など収入は下がるのに、灯油高くてくらしは**赤信号** **「福祉灯油」を実施してください!!**



1/29、札幌市へ札幌社保協、道生連、新婦人、共産党などから40人が参加し「福祉灯油」などの実施を求める要望署名を1966人分提出しました。参加者の男性は「古いアパートで入居していない部屋も多く、夜中は冷えてたいへん。暖房費がかかるのでガスも使わず節約し、昼は病院やスーパー等で過ごしている」と厳しい生活の実態を紹介。他にも3人が生活実態を示し、福祉灯油や助成の実施を要望しました。

応じた木下淳嗣保険福祉局総務部長は「灯油は少し安くなっているが、これ以上上がると大変と思う。福祉灯油は実務的なこともあり実施は難しい」と、私たちの苦しい暮らしに共感も示さない回答でした。参加者からは「市長

へきちんと伝え、検討すべきである」との声が出されていました。

【今後の予定】市議会へ団体陳情を出します。

団体陳情の第1回提出 2/4(火)11:30 市役所18階の市議会ロビー集合。個人署名は引き続き集め、市長への要望として提出します。第2回提出と会派要請 2/14(金)11:00 市役所18階の市議会ロビー(この日は市議会開会日)

怒りの年金削減不服審査請求 北海道で6500、札幌で3350人分を提出

2013年10月分からの年金削減に抗議した不服審査請求の運動は急速に広まり、全道では6500人を超えました。

1/31年金者組合員の他、道・札幌社保協、道生連等から130人が参加して「不服審査請求提出集会」が行われました。各地の代表が年金者の怒りを報告し、道社保協大橋会長、道労連黒沢議長が連帯のあいさつをしました。

集会後参加者は寒風の中道の厚生労働局へ向かい、札幌市内、石狩・当別・江別~の代表者が次々と審査請求書を渡しました。

提出後は合同庁舎前で宣伝と提出の報告を行い、年金削減を食い止めようと訴えました。



各地・団体で学習会 アベノミクス・社会保障改悪・消費税増税は一体



12/20は勤医協歯科(20人参加、写真右) 1/18は革新懇ていね(30人参加、社員左)で「アベノミクスと社会保障改悪・消費税増税」の学習会が開かれ、斉藤札幌社保協事務局長が講演しました。アベノミクスが新自由主義の大企業応援、庶民負担増の政策であることを学習しました。